

各位

会社名 株式会社ダイサン
代表者名 代表取締役社長 藤田 武敏
(コード: 4750 東証スタンダード市場)
問合せ先 管理本部 財務経理部 財務経理課
担当部長 河野 良亮
(TEL. 06-6243-6341)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024年3月5日開催の取締役会において、2023年6月5日に公表いたしました、2024年4月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2024年4月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月21日~2024年4月20日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,500	百万円 300	百万円 336	百万円 186	円 銭 29.00
今回修正予想 (B)	10,340	△15	△33	△10	△1.56
増減額 (B - A)	△1,160	△315	△369	△196	△30.56
増減率 (%)	△10.1	-	-	-	-
(参考) 前期連結実績 (2023年4月期)	10,512	△63	△1	△1,016	△158.55

(注) 上記の業績予想等は、現時点での入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 修正の理由

2024年4月期通期の連結業績予想につきましては、連結売上、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回発表予想を下回る見込みとなったため、修正いたします。

修正の主な要因として、施工サービス事業においては、市場におけるレンタル需要の高まりに対しレンタル用資材の積極的投資を進めましたが、受注量が当初想定を下回る水準で推移したことから、投資が先行することとなりました。また、施工スタッフの確保が依然として厳しいなか、特定技能制度における外国人材の受け入れによる増員がございましたが、全体では減員となりました。

継続して行ってきた値上げ交渉は一定の成果をあげており、今後はさらに労働安全衛生規則改正を踏まえた価格改定によって売上増が見込まれるものの、給与のベースアップや物価高騰による当期中のコスト増加を吸収するには至りませんでした。以上のことから、売上、利益ともに当初予想を下回る見込みとなりました。

製商品販売事業においては、鋼材価格の高止まりと新設住宅着工戸数の減少傾向、市場におけるレンタル需要の高まりに加え、ユーザー様においても人員不足により足場資材が余剰にストックされていることから、市況全体で購買意欲が低下しました。当期中には労働安全衛生規則改正や2024年問題における物流費高騰前の駆け込み需要が予想されるものの、売上、利益ともに当初予想を下回る見込みとなりました。

海外事業においては、在外子会社のあるシンガポールでは、欧州及び中国の景気減速への懸念などを受けて景気が鈍化する中、コロナ禍以降のワーカー採用の正常化と、プラントメンテナンスにおける大型案件の受注や直接受注比率の増加、現場管理の厳格化などにより成長が実現しましたが、住宅賃料の高騰による寮費の増加や金利上昇などの影響もあり、売上高は概ね計画通りに進捗したものの、利益については当初予想を下回る見込みとなりました。

なお、現時点において、配当予想についての修正はございません。

以 上